

令和4年度第2回 名張市地域公共交通会議事業推進部会 議事概要

日 時 令和5年2月6日（月）

午後2時00分より

場 所 名張市防災センター

出席者：（敬称略）

（1）委員

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校 教授）

豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）

池田 守 （名張市地域公共交通会議 委員）

澤田 恭子 （名張市地域公共交通会議 委員）

藤野 泰司 （名張市地域環境部 部長）

（2）事務局

都市整備部都市計画室3名

1. 開会

2. 議事

（1）令和4年度名張市地域公共交通会議事業推進部会事業中間報告（案）について

（事務局より資料をもとに説明）

部会長 何かご質問等がございますか。

委 員 ベンチの設置について、これは寄贈された2基とも蔵持町原出に設置したのですか。

事務局 そうですね。蔵持町原出は道路を挟んで2つバス停があり、どちらにも設置をしました。

委 員 以前ベンチの設置は難しいとお聞きしましたが、こちらは管理者との調整は済んでいますか。

事務局 歩道も広く、安全上問題ないということで市の維持管理室とも協議しながら設置しました。

部会長 駅内の標示は近鉄さんが作ってくれたのですか。

事務局 そうですね。駅構内に案内標示はあったのですが、バスに関するものはなかったので、今回詳細なものを作っていただきました。

委 員 桔梗が丘駅のベンチ設置については協議中ということですが、乗り入れている三重交通との協議は必要ないのでしょうか。

事務局 敷地は近鉄さんが持っており、今あるベンチも管理部門が設置しています。管理をする観点からも近鉄さんと協議をさせていただいています。

委 員 駅構内の標示について、何も無いところから市が設置して、近鉄さんがそれに対応していただいととてもよかったなと思います。ただ、車内の行き先表示では多言語化がされており、これからインバウンドも見込める中、色んな言語での案内があってもいいと思いました。また、バス協会でもバスの絵を募集していますが、47作品集まったということで急遽決められたと思いますがどのように集められましたか。

事務局 実を言うと絵は1学期が終わる頃に案内を小学校、幼稚園等の担当箱に入れましたが、なかなか出足が悪かったので身近な方にも声をかけた結果、13作品集まりました。結果的にバス車内に掲示するのにちょうどいい枚数でした。今後応募作品が多くなると掲示方法を見直

したり賞を設けるというのも1つかと思います。

委員 絵や川柳はバスの中以外にも展示されていたのでしょうか。

事務局 秋の交通安全期間中にメガドンキ名張店さんでパネルで展示していました。

委員 広報や役所のパネルでも展示をしたらどうかと思います。

事務局 ありがとうございます。他にもホームページでもあげていきます。

委員 私も川柳が好きで、広報を見て早速夫と応募しました。バスに貼られているのを喜んで見ていましたが、バスがお題になっていましたが、作る方からすればまた同じお題だと無理があるので、市全体のことや季節などに広げてもらえたらと思います。

事務局 ありがとうございます。皆さんに見てもらうためにも、お題を変えていくというのは数が集まるいい方策だと思います。

委員 バスの乗り方教室は、蔵持小学校で実施する以外に広げていく予定はありますか。

事務局 今まで、みどり号の取組として蔵持小学校限定で行っていましたが、いい取組ですので、市内にも広げたいという思いで、来年は中学からバス通学の学校等で実施できたらと思っています。

委員 乗り方教室に限らずに、遠足や社会見学で路線バスを使うことで、子どもたちも乗り方を覚えると思うので、1つの方法かと思います。その代わり三重交通に30人くらい乗りますと予め連絡がいきます。定員を超える場合はもう1台出してもらえる場合もあります。

事務局 市内の音楽会では、公共交通を使って来てもらっていたりしますので、それに限らず市内の遠足や社会見学で使ってもらえるように広げていけたらと思います。

部会長 他の地域でも路線バスやコミバスを使っていると聞きます。子どももバスに乗ったことがなく、ICカードを渡して乗り方を教えてこの前初めて乗りました。

委員 今は運賃の両替の心配がなくICカードで乗れるので安心ですね。

委員 伊賀市のコミュニティバスではICカードが使えました。IC化は機材の代金等がかかるというお話でしたが、名張市のコミュニティバスでも工夫して使えるように検討してほしいです。

部会長 IC化はシステム構築や運用費などかなりのお金がかかります。地域によってはQR決済でしているところもあります。QRは導入のハードルは低いですが、管理が大変だそうです。他によろしいでしょうか。それではこちらは本会議に上げさせていただきたいと思います。

## (2) 名張市地域公共交通会議事業推進部会今後の取組について

部会長 免許返納者への優遇措置もいいのですが、免許返納をすべき年齢の方で、車がないと生きていけないと思っている人が結構います。そういった方に本気でバスがあれば大丈夫だと思ってもらうために、まちの保健室の方などに試しにコミュニティバスに乗れる券を渡しておいて、免許返納を迷っている人に乗ってもらうような周知の方法はないですかね。

事務局 一例として、緑が丘団地で高齢者向けのバスの乗り方教室を開催いたしました。多くの方に参加をいただき、講義や乗車体験を通してバスについて知ってもらう機会になりました。

委員 バスに乗るのは難しいことではないのに、歩くことに不安がある人はバスは無理と思われるようで、ボランティアでサポートをしてくれる人がいますが、その人が乗降を手伝ってくれたら、ハードルが低くなるのかなと思います。

- 事務局 まちづくり組織の中に、地域の助け合いや支え合いの事業がありますが、その中でバスの時刻を調べたり、乗降の補助をパッケージ化してバスの乗り方サポートというのをさせていただくのも1つかなと思います。
- 委員 免許返納はハードルが高いもので、子育てサポートぐらいの手厚さが必要になると思います。高齢者に優しいまちは、人も戻ってくると思います。
- 部会長 移動は人間の営みの中でも重要で、特に地方部でそれをどう保障していくか、できないと人がまちからどんどん離れていきます。ちょっとしたところへの移動も億劫になってしまうので、うまいこと考えられないかと思っています。最近では電動キックボードも出てきて、知らない人がたくさんいると思います。最近では免許を返納する必要もないのかなと思っています。年配の方も乗れるゆっくりした乗り物もありますので、70歳以上の方は免許返納者と同等というようにしてもいいかもしれません。
- 委員 みんなで乗れば怖くないと思いますので、名張市ではそういった乗り物が普及していると高齢者にも優しいまちとして移住者が増えるかもしれません。
- 事務局 新しい計画のパブリックコメントの中でも、免許返納に関するご意見をいただき、関心の高いものだと思っています。今後は、免許の返納だけでなく、70歳や75歳以上の方に向けて取組を行っていくという新たな視点もいただきましたので、今後の検討材料にさせていただきます。
- 委員 津市では高齢の方で窓口に来た方に三重交通のエミカカードをチャージした状態で配っているそうです。
- 委員 歩けなくなってから返納されるので、バス停までのアクセスが難しくなってきているので、その補助的なものが必要になると思います。
- 部会長 色んな小型の乗り物が出てきていますが、どれがいいのかは乗ってもらわないとわかりません。来年度もし買うことができれば皆さんに乗ってもらおうかなと思っています。そういった乗り物を個人で買うのか、公共が用意するのかという議論もあると思います。将来的にはそういったものを公共が用意したり、補助が出るのかなと思っています。
- 委員 菰野町では電話で予約して家の近くに車両が来て、AI がルートを組んで相乗りして目的地に行くというタクシーを運行されていますので、一度検討されてはどうでしょうか。
- 事務局 それは町内全域対象なのか、小さな地域でなのかどちらでしょうか。
- 委員 ブロックごとだったと思います。
- 部会長 長距離はバスに乗ってくださいということです。鈴鹿市では市ではなく自治会が検討されているそうです。うまくいっているところは企業協賛がたくさん集まる傾向にあります。また、多くの地域では乗合にならず単独の移動になっているそうです。
- 委員 エコ通勤について、はたっこ号は通勤時間にも運行していますが、ナッキー号は通勤時間に運行していないと思いますが、運行を早めたりはしないですか。
- 事務局 通勤としては団地から駅まで来て電車等へ乗り換えるという性質があり、ナッキー号は市街地循環として公共施設や買い物施設が開き始める時間に運行をしており、日中の移動に合ったかたちで運行をしています。
- 委員 大阪方面への通勤も減ってきており、通勤の流れも変化しているのではないのでしょうか。今

のところは通勤通学対応は考えられていないですか。

事務局 ナッキー号の運行時間は通勤通学時間とずらしており、通勤通学は三重交通さんに主に担っていただいています。ただ、勤務形態も変わってきているのでそういった方に向けた促進はできるのかなと思います。

部会長 その他いかがでしょうか。それでは、その他の項目について、事務局からお願いします。

### 3. その他

#### ・名張市地域公共交通計画（案）について

（事務局より説明）

部会長 ご説明いただいた件について、ご意見ご質問はございますか。計画については、コロナや人員不足があり、この先も計画通りにいくかはわかりませんが、計画で取組を決めて、しっかりとやっていくことが大切かと思えます。

それでは、以上をもちまして令和4年度第2回名張市地域公共交通会議事業推進部会を終了いたします。ありがとうございました。